

(福) ケアハウス信愛館

新型コロナウイルス感染症の流行により信愛館の日常生活にも影響が出ています。徹底した手洗い、外出時のマスク着用はもちろんのこと、面会制限など不自由な日々ですが、入居者皆様はよく自覚され細心の注意のもと生活されています。

信愛館ではクラブ活動の一つとして書道会があります。当初から活動されている入居者に一文をお寄せいただきました。

「信愛館に書道部ができて八年。先生は書道歴五十年近江八幡市では有名な女性書道家の一人です。私は八十五才で入会、現在九十才代の高齢入居者です。小学校以来筆を持った事はありません。最初は「楷書」楷書とは「書体をくずさない漢字」先生からお手本を頂き筆を持ちましたが手が震え思う様に筆が進みませんでした。先生はお手本通りに書かなくても自分の思い通りに書けば良いとの御御指導でした。基礎が理解出来る様になり次々は「行書」「行書」とは「楷書」を少しくずした「書体です。楷書を少しくずして変化をつけそれに「カスレ」を入

れて書くのですが「カスレ」とは筆の墨を少なくして筆を早く走らせて書く事です。むずかしい、半紙二枚分の長い紙には縦三文字現在四文字次は五文字書きます。又半紙一枚に二文字か三文字、大きく筆の毛先二十cm程ある長い筆で思い切り自由に「カスレ」を入れて書きます。筆の毛先が長いので腕を使つて筆の向きを変えて書く様指導されますが老化した腕は頭で理解出来ても思うように動きません。又こんな下手な字恥ずかしいと思つていても先生はこの字は面白くて良いと評価されることもあります。嬉しいです。次は俳句が短冊に書けるよう細い文字を習う予定です。むずかしいが楽しいです。書体はこの上「隷書」れいしよ「篆書」てんしよがあります。私には雲の上です。年一度の文化祭には裏打ちをして正式に作品を提出します。毎月の練習は掲示板に張つて頂きます。作品を見ながらスタートした初期よりどれだけ進歩したか？今後一層努力を積み重ね頑張ります。

田中敦子

二月二十七日(木) 社会福祉法人近江兄弟社地塩会の評議員会が開催され、先の理

事会で話し合われた内容が報告され承認されました。

三月十日(火)「音楽鑑賞会」が初めて4階ラウンジでありました。辻井伸行さん演奏のCDでモーツアルトのピアノ曲を鑑賞しました。新しいデッキは低音が響き臨場感あふれる音楽で今後は演歌なども楽しむ予定です。

